

# 行政 トピックス



子ども・家族サポートして  
個々の輝き、笑顔引き出す

―南丹市子育て発達支援センター  
開設式―

子どもの発達支援相談事業、療育事業、日中一時預かり事業を包括して行う「南丹市子育て発達支援センター」の開設式を4月30日に行いました。旧川辺保育所を改



▲各部屋の床には柔らかいマットが敷かれています



▲つながりのある縦断的な支援の必要性を説く灘さん

築した同施設（園部町船岡）は鉄骨平屋建てで、相談室、療育室、リハビリルーム、日中一時ルーム、屋外に遊具や広場があります。

4月1日から心理士や作業療法士、言語聴覚士、医師などが相談に応じ、状況に合わせた支援を行う発達支援相談を開始。就学前の幼児一人一人に合った療育を行う「つくし園」は市社会福祉協議会に委託、日常生活で支援が必要な小学生以上の子どもの一時預かりはNPO法人「発達障害を考える会ぶどうの木」に委託して5月1日から同施設で行っています。

開設式後の記念講演では、当センター作業療法士、灘裕介さんが「親子が共感しながら育ち合えるサポートが必要」と話されました。

万々に備えあれば憂いなし

―南丹市防災パトロール―

洪水や土砂災害発生のおそれがある河川や、崩落の危険性がある山斜面などを調査して回る「防災パトロール」を5月28日に実施。佐々木市長をはじめ京都府南丹広域振興局や土木事務所、南丹警察署、園部消防署、市消防団などが参加の下、市内9カ所の現状を確認。その後、総括会議で危険度の判定、対策を検討しました。

今年5月には危険箇所や避難場所一覧を掲載した総合防災ハザードマップを市内各戸に配布。防災意識の向上に努めています。



▲危険個所の状況を確認（八木町地内）



▲緑のタンクが目印のバイオエコロジーセンター

循環資源への取り組み評価

―八木バイオエコロジーセンター  
「新エネ百選」に選定―

全国でいち早くメタンガスを利用した大規模な家畜ふん尿処理システムを導入したことが認められ、「南丹市八木バイオエコロジーセンター」（八木町諸畑）が、経済産業省および独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構実施の「新エネ百選」に選定されました。当センターは平成9年度に完成以来、地球環境に優しいバイオガスを発電などに利用。液肥を農地に還元し、循環型農業で安全な農作物の供給をしています。